

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年5月28日
第15号

京都西本願寺で降誕会

吹奏楽部3名が音楽法要に参加

5月20日、21日、水澤大地先生の引率で吹奏楽部の木村花音さん、荻野華奈さん、今堀帆乃香さんの3名が京都西本願寺の降誕会（音楽法要）に参加した。全国の宗門校から合唱部や吹奏楽部から選ばれた66名が重誓偈などの聖歌の歌い方を学び、降誕会で合唱を披露した。降誕会には京都市内の宗門校、平安高校などの生徒千人以上が集い、親鸞聖人の生誕850年、開宗800年を盛大に慶讃した。



66名の合唱団のハモリが荘厳に響いた。

木村さん、荻野さん、今堀さん

荻野さんは「初対面の人と楽しく交流し、本堂で歌う良い経験ができた」と語った。水澤先生は「発音練習や歌い方の指導、宗教学の意見交換などを今後に役立てたい」と語った。合唱のレベルが高く刺激になったという。



本堂には千人以上が集った。

吹奏楽部が二胡奏者とコラボ 小樽別院で慶讃法要



(左) 集合写真、(上) 演奏会の様子

5月19日、小樽別院で北海道地区小樽別院親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要が営まれ、吹奏楽部が二胡奏者の姜曉艶さんと共演した。

「シルクロード」、「ハナミズキ」、「風笛」の3曲を披露した。「シルクロード」は吹奏楽用の楽譜がないため、西川悠斗くん（3-2）が2ヶ月かけて編曲した。前日からリハーサルでイメージをすり合わせ、曲を完成させることができた。世界初公開として、YouTubeで配信されている。ナレーションは木村花音（3-2）さんが担当した。



姜曉艶（ジャン・ショウイエン）さん（右写真）中国大連市生まれ、5歳から二胡を学ぶ。医学博士であり二胡奏者。1997年来日。現在、二胡演奏、作曲、歌手、舞台監督など総合プロデューサー、またファッションデザイナーとして幅広いジャンルで活躍している。

双葉の郷里

先日、別院での降誕会のお話で西元宗助先生のお話をされていきました。その中でも迷者不問道（迷える者は道を問わず）という言葉がとても印象に残りました。進路に悩む2年生や新たな環境に戸惑っている1年生に刺さる良い言葉だったと思います。かく言う私自身も進路に悩む2年生です。もともと言うところのコラムでさえ、まともに書けているのか悩んでいます。そんな時こそ迷者不問道を思い出して余計なプライドを捨てて、周りの大人や先生方に聞くべきなのではないでしょうか。

また、6月にはアメリカから交換留学に来る生徒たちがいます。学校や自分の家の近所などを案内する、もしくは何か質問を受ける機会があるかもしれません。常に謙虚な心で、分からないことは何事も、調べたり、尋ねたりすることを心がけていきたいと思っています。

今回の話で周りを頼る謙虚な姿勢というのを意識して生活してみたいと思うようになりました。

（大塚翔太）